



## 令和3年度土木学会東北支部技術研究発表会に参加しました(2022/3/5)

場所：オンライン

参加者：佐藤准教授，新家，菅野，高橋（以上 D2），鄭（D1），鎌田，田畑，渡邊勇，渡邊凌生（以上 M2），信田，成田，西田，藤田（以上 B4）（学年は 2022 年 3 月時点）

3月5日に、「土木学会東北支部技術研究発表会」がオンラインで開催されました。この研究発表会は東北の研究者、技術者などによる、土木を対象とした研究を発表する会です。毎年3月に行われています。本年度は、発表者として新家、菅野、高橋(以上 D2)、鄭(D1)、鎌田、田畑、渡邊勇、渡邊凌生(以上 M2)、信田、成田、西田、藤田（以上 B4）が参加しました。発表者の講演内容は以下の通りです。

- 新家杏奈：津波避難行動詳細インタビューによる生きる力の長期的な変化
- 菅野剛：1640年駒ヶ岳噴火による津波再現のための山体崩壊シミュレーション
- 高橋潤：1611年慶長奥州地震津波の痕跡データの整理と波源の推定
- 鄭安棋：Tsunami characteristics of the 26 December 2006 tsunami offshore Hengchun peninsula, Taiwan based on tide gauge observations
- 鎌田紘一：東日本大震災における宮城県での損傷死被害の実態分析および影響要因
- 田畑佳祐：学生主催のマイ・タイムライン講習会の実施と効果
- 渡邊勇：東日本大震災を事例とした傾向スコア法を用いた被災地訪問学習の効果分析
- 渡邊凌生：静岡県浜松市における津波土砂移動の特徴と砂浜生態系への影響
- 信田晃成：東日本大震災における犠牲者の瓦礫発見率と建物被害の関係-宮城県気仙沼市の事例 -
- 成田峻之輔：東日本大震災の復興支援調査アーカイブにみられる危険方向移動者の特性
- 西田知生：仙台新港における設備被害・生産停止を考慮した工業団地の津波リスク評価
- 藤田崇宏：異なる時間帯に発生した津波避難行動の検討：2016年福島県沖地震と2021年宮城県沖地震の事例

(文責：西田)